

エンゼル幼稚園のアセスメントポリシー(評価方針)

Mission

「子ども達のチャレンジ精神や思いやりの気持ち、
他の人との協力性を育みます。」

Vision

「生き物を思いやり、知識ある真の国際人
を生涯に渡って育てられるコミュニティー
を創って行きます。」

目的

私たちのミッションとビジョンを達成するには、子どもの成長を評価し追跡するアセスメント(評価)が必要です。アセスメントを通じて、私たち関係者(保護者と先生)はコミュニティとして、子どものニーズを満たすために私たちの考え方を合致させることができます。アセスメントは先生、保護者、運営そして子ども間のコミュニケーションをうまく行うのに不可欠な物です。アセスメントポリシー(評価方針)はエンゼル幼稚園の教員によって作られました。私たちは常に子どもの発展を評価します。

地域の要件

エンゼル幼稚園は一条校であり、文部科学省のもとで運営しています。そのため、子ども全員の保育要録を作ります。保育要録は子どもの発達や様子の記録であり、進級した時に小学校に引き継ぐものになります。

先行知識について

ユニットの始めには、子どもがすでに知っている知識を活性化することが重要です。この情報から先生はユニットのコースをどのように進めていくか考えることができます。また、これらの情報は、子どもの成長を最大限に支援する方法を識別するためにも使用とされます。

私たちがどのように評価するか

ユニットの実施期間、私たちは、平等的で客観的に子どもの成長を測るための評価をします。この評価は、ユニットが進んでいる間に子どもの理解を図ることができるように行われます。これは最終的な評価ではありませんが、子どものニーズに合わせて調整する方法を先生に示します。ユニットが進むにつれて、評価のフィードバックにより、子どもはこれまでに学んだ知識

を振り返ることができます。ユニット全体を継続的に評価し、理解の証拠として使用します。それだけでなく、子どもたちが活動外や家などでも応用しているかを評価することで、学んだことを理解しているかどうか分かります。活動や遊びを観察することで、自然な探求ができる環境での評価をすることができます。評価のツールは観察、写真、動画、ワークシート、振り返り、相互評価などがあげられます。

ランゲージポリシーでは、言語には多くの形式があると述べられています。私たちは子どものウェルビーイング(健康と幸福)について考えているため、子ども達に彼らの理解を示す機会を与えるために、さまざまな方法で評価を実施するよう努めています。インクルージョンポリシー(包括的方針)で述べられているように、これは包括的な環境を作るために重要です。

評価の伝え方

様々な子どものニーズに対応するために、ポートフォリオシステムが使用されています。ポートフォリオの様々な評価の形は図面、図表、写真、ビデオ、観察などが含まれます。ポートフォリオは、各ユニットが発展するにつれ振り返りの為にも使用されます。子どもたちは自らの学びについて振り返ることができ、関係者(保護者と先生)も同様に振り返ることができます。ポートフォリオを使うことにより、国際的な視野を持つ人間になろうと努力している子ども全体の成長を見ることができます。

ユニット終了後にポートフォリオを持って帰ることで、子どもがリフレクティブになって、保護者と振り返ることができます。保護者も自分のリフレクションを書くことによって評価の伝え方が一方的でなく、全員で子どもの成長や次のステップを考えることができます。

常に子どもの幼稚園での生活と様子が把握できるよう、SeeSawを使ってオンラインポートフォリオアプリケーションを使用しています。ここでは、写真や動画を中心に載せています。

SeeSawは先生と保護者だけではなく、子どもも利用し活用することができます。ユニットの探求のために、SeeSawでアクティビティを作り、家庭でもインクワイヤーとして探求ができるようにしています。家庭ともコラボレーションする中で、全員で子どもの探求心を育てています。

また、子どもの発達の記録を連絡帳にも記載します。年少は1年に3回、年中と年長は1年に2回書きます。連絡帳に書く評価はユニットだけではなく、子ども自身の全体的な発達に繋がります。

これがエンゼル幼稚園のアセスメントポリシーです。